

○●水稻の生育情報●○

ーコシヒカリの幼穂の形成が始まりました。間断かん水を行いましょう。ー

◇◆ 概況 ◆◇ (7月1日 水稻定点ほ場調査結果から)

6月下旬は、平均気温は平年並で、日照時間は多くなりました。
生育は平年と比較して、草丈は高く、茎数は少なく葉色は淡くなっています(表)。
また、幼穂の形成が始まっていて、昨年より生育が進んでいます。

表 定点ほ場の生育調査結果 (平成25年7月1日現在)

品種	調査地点	田植日	草丈	茎数		葉色	植付本数	栽植密度	幼穂長	出穂期
			cm	本/株	本/m ²	葉色板	本/株	株/m ²		
コシヒカリ	坂東市	4/23	70.3	24	433	3.2	5.1	18.2	3.4	7/23
		(4/23)	(69.0)	(595)	(3.6)	(4.8)	(17.3)			
	境町	4/29	73.4	31	416	3.5	4.5	13.4	3.5	7/23
		(4/26)	(67.6)	(511)	(3.8)	(4.7)	(13.6)			
五霞町	5/6	74.7	29	454	3.8	4.1	15.9	1.0	7/26	
古河市		5/8	74.5	24	436	3.4	3.4	18.1	0.5	7/28
		(5/10)	(60.8)	(434)	(3.9)	(4.3)	(17.5)			

※出穂期予測は今後平年並みの気温で推移した場合

()内は過去5年間の平均値

注) 五霞町は H24 から地点変更のため平均値はない

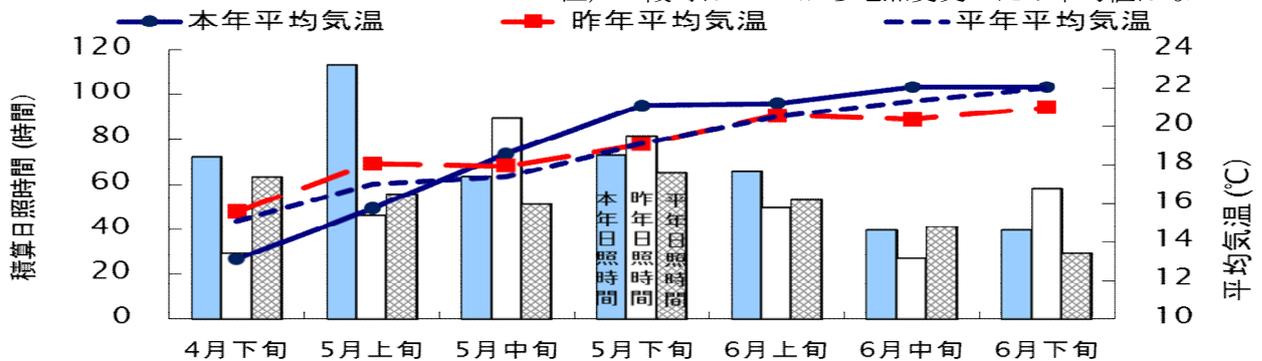


図 4月下旬から6月の旬別平均気温と日照時間(古河) (注) 平年値は1981年~2010年の平均値

◇◆ 今後の栽培管理 ◆◇

5月10日前に移植したほ場では、幼穂形成が始まっています。
すぐに中干しを終了して、3~4日間隔で入水と落水を繰り返す
「間断かん水」を実施しましょう。

★病害虫防除(斑点米カメムシ対策)★

水稻の出穂10日前頃までに畦畔の雑草の刈り取りを行います。イネ科雑草を減らすことで、水田に侵入するカメムシを減らす事が出来ます。

なお、7月1日発表の病害虫発生予報では、斑点米カメムシ類の発生時期は平年並み、発生量はやや多いとなっています。